

受章おめでとうございます

第45回危険業務従事者叙勲 瑞宝双光章



元准陸尉

神内 千登志 さん
(長浜町櫛生)

秋の褒章 黄綬褒章



上田建設株式会社
代表取締役

大野 彰一 さん
(肱川町宇和川)

秋の叙勲 瑞宝単光章



元訪問介護事業所
「大洲市社会福祉協議会」
ヘルパー管理者

沖野 竜代子 さん
(肱川町西)

農業振興や地域活性化に向け連携強化！

11月27日(木)、大洲市は愛媛たいき農業協同組合と包括連携協定を締結しました。社会情勢の変化に対応した効率的な自治体運営や農業振興、地域活性化を図ることを目的に6項目について連携するものです。市役所で行われた締結式では、二宮市長が「今回を新たなスタートとして、さらなる地域の活性化と市民サービスの向上に努めたい」と挨拶しました。今後は防災イベントを通じた地域交流や避難所防災用品、生涯スポーツ用品などの整備を検討していきます。



左は愛媛たいき農業協同組合 田淵 博幸 代表理事組合長

原子力災害に備えて

11月28日(金)～11月30日(日)の3日間、愛媛県原子力防災訓練が国との合同により開催されました。伊方町で震度7の地震が発生し、伊方発電所で原子力災害が発生したという想定のもとで訓練が行われ、多くの関係機関が参加しました。

大洲市では、災害広報や県オフサイトセンターの運営訓練のほか、情報伝達の確認などを行いました。また、長浜地区の住民44人が参加して、屋内退避・住民避難誘導訓練も行いました。参加した人は、一連の避難行動の手順を確認していました。





身近な問題として考えよう 人権問題

「第77回人権週間（12月4日～10日）」の企業訪問・街頭啓発の出発式が、12月4日(木)に市役所で行われました。啓発活動重点目標として「『誰か』のこと じゃない。」を掲げ、いじめや虐待、性被害、障害のある人や性的マイノリティなどに対する差別や偏見など社会に存在する全ての人権問題について「『誰か』のこと」ではなく一人ひとりの問題としてとらえ、考え、行動していくことの大切さを呼びかけました。



やさしい灯りが導く、臥龍山荘の幻想空間

12月6日(土)、臥龍山荘で「臥龍の夜 竹灯籠の煌めき」が開催されました。庭園を竹灯籠でライトアップする取り組みは今回が初めてで、歴史ある臥龍山荘に新たな魅力を添えました。当日は、大洲市民が無料で入館できることもあり、家族連れや友人同士など多くの市民が訪れました。幻想的な灯りに照らされた臥龍山荘は、昼間とは表情を大きく変え、訪れた人々は足を止めて静かに眺めたり、写真を撮ったりしながら、いつもとは違う趣の空間を楽しんでいました。



新年を迎える準備 大洲城ですす払い

12月12日(金)、大洲城で年末恒例のすす払いが行われました。主催する大洲史談会のほか、協力企業やボランティアなど約30人が参加。寒空の下、箆を使って軒下などのほこりを取り除き、高い場所は高所作業車を使って清掃するなど、新年を迎える準備に汗を流しました。大洲城を管理する竹中祥恵施設長は「観光客の増加に伴い、大洲城の来場者も増えている。来年もさらに多くの人に訪れてほしい」と話していました。



母校に集う全国の味、長高フェスでご当地物産展

12月13日(土)、長浜高校で「長高フェスティバル」が開催され、その企画の一つとして「ご当地物産展」が行われました。長浜高校では4年前から生徒の全国募集を行っており、令和7年度は北海道から沖縄まで、愛媛を含む26都道府県の生徒が在籍しています。物産展では、こうした多彩な出身地を生かし、26都道府県の名産品を一堂に集めたものです。

近所の友人3人で訪れた来場者は「50年以上前の卒業生です。今も母校が残っていてうれしく、このイベントを楽しみにしていました」と話し、かごいっぱい商品を選んでいました。

食の大切さを知る 食育講演会を開催

12月13日(土)、大洲市総合福祉センターで「食育講演会」を開催し、市内外から約150人が聴講に訪れました。タレントで農政ジャーナリストの大桃美代子さんが「食育によるSDGsへの貢献～地産地消と食生活のすすめ～」をテーマに講演しました。

環境と食の密接な関係や健康維持に最も効果的とされる「日本型食生活」のすすめ、そして地産地消の実践についての話があり、家庭や地域で美味しい食事を作り、その楽しさや作り方を、周りの人々や次世代に伝えていきたいと思いますと呼びかけました。



アイデアを形に 高校生たちの挑戦

高校生を対象に起業家育成を目的とした「大洲市高校生チャレンジプログラム」の実証実験が、12月7日(日)と14日(日)の2日間にわたって行われました。個人ごとのビジネスプラン発表から5つのグループに集約。これまでに6回の講座を行い、ブラッシュアップを重ねたプランを実際場で試す取り組みです。

7日(日)は、長浜コミュニティセンターで「町の縁側プロジェクト」として地域団体によるマルシェや宝探し、長浜高校吹奏楽部の演奏など、多世代が交流できるイベントを開催。14日(日)には、大洲イノベーションセンターを会場に、「名産品」「読書体験」「謎解き×カフェ」「学び」をテーマに4グループが出店しました。高校生たちは訪れた人と交流しながら楽しそうに接客し、実践を通じて学びを深める貴重な機会となりました。



愛媛FCレディース大宮さん表敬訪問

12月17日(水)、2025年シーズンで現役を引退した愛媛FCレディースの大宮央選手が市役所を訪れ、二宮市長を表敬訪問しました。大宮選手は新谷中学校在学中から愛媛FCレディースMIKANに所属し、トップチーム昇格後の4年間を含め、約10年間にわたりチームを支えてきました。二宮市長は、「地元出身選手の活躍は市民の誇り。これからの新たな挑戦も応援しています」と功績をたたえました。大宮選手は、「次の世代に夢や希望を持ってもらえるような活動をしていきたい」と、引退後の新たな一歩への意欲を示しました。



子供たちの笑顔あふれる新しい園舎が完成

建設を進めていた「なかよしこども園」が完成し、12月18日(休)に落成式を行いました。平成30年7月豪雨で休所となっていた三善保育所と、昭和41年に建設され老朽化が進んでいた栗津保育所を統合し、新たな認定こども園として整備したものです。

落成式では、二宮市長が「子供たちが健やかに育ち、互いに学び合いながら、未来に向けて羽ばたく場所になってほしい。地域に密着し、共に成長していける施設となることを願っています」と式辞を述べました。続いて、栗津保育所の年長児8人による元気いっぱいダンスが披露され、会場は和やかな雰囲気になりました。

本施設は、令和8年1月から栗津保育所として供用を開始し、4月からは認定こども園として運用していきます。



神事



園児による発表会（ダンス）



外観（道路に面した駐車場を確保）



園庭には芝生を採用



施設の概要

場 所	大洲市八多喜町甲177番地1
延床面積	591.67㎡
構 造	木造平屋建て
設 備	保育室、調乳室、沐浴室、調理室 なかよしルームなど
定 員	50名 (2歳児未満8名、2歳児以上42名)
特 徴	①県産木材を使用し、木の温みがある ②こども誰でも通園制度の実施 ③太陽光発電の設置など環境面に配慮